

事業の背景・目的

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の背景や目的、必要性、地域における生物多様性保全上の課題等を簡潔に記載（300文字以内）

ミヤコカナヘビは、国内希少野生動植物種であり、保護増殖事業計画が策定されている。また、日本動物園水族館協会は、2014年に環境省と締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づき、2017年より生息域外保全の取組を開始し、ミヤコカナヘビ管理計画書を策定している。本事業は、当園にてミヤコカナヘビの生息域外保全をするため、飼育繁殖のための環境を整備し、飼育繁殖を通して、科学的知見の集積、普及啓発を行い、本種の保全に対し、動物園の立場から貢献していくことを目的とする。

事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

事業① 飼育施設整備事業

ミヤコカナヘビの飼育繁殖施設の整備のため、飼育ケース及び飼育に必要なUVライト、湿度調整機器、温湿度記録計、繁殖に必要なインキュベーターなどを整備した。



事業② ミヤコカナヘビの導入及び飼育繁殖事業

日本動物園水族館協会のミヤコカナヘビ管理計画に基づき令和5年10月に上野動物園から20頭のミヤコカナヘビを導入し、飼育・展示・繁殖・啓発を実施した。



得られた成果

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の成果、活動継続の見通し、事業終了後の展開等を簡潔に記載（400文字以内）

- ・飼育設備を整え、20頭のミヤコカナヘビを導入することができた。展示開始時にはプレスリリースを行い、熊本県内の民放4社のうち4社が取材を行い、地域のニュースとして取り上げられ、保全活動について発信できた。
- ・ニホンカナヘビやニホントカゲと比較展示をすることで生物多様性の重要性についても発信できた。
- ・令和6年1月には、初めての孵化を確認でき、その後順調に15頭の孵化に成功した。（3/1現在）
- ・3/16にはシンポジウムを開催予定。

